

《汉译西洋数学书对日本影响的文献学研究——以康熙《御制数理精蕴》为中心》

书籍信息

版次：1

页数：

字数：

印刷时间：2016年11月03日

开本：16开

纸张：胶版纸

包装：平装

是否套装：否

国际标准书号ISBN：9787513044806

编辑推荐

本书以《数理精蕴》为例，阐述了中国翻译的西学译著对日本文化的影响。

内容简介

[显示全部信息](#)

作者简介

李文明，中国社会科学院世界历史研究所助理研究员，在南开大学取得学士、硕士学位，在日本京都大学取得博士学位。主要研究日本江户时代文化史、日本欧洲文化交流史。

目录

目次

第一部 論考編

第一章：和算家の対数受容

第一節：研究史

第二節：『数理精蘊』の対数理論

第三節：対数表と八線対数表の区別

第四節：鶴山樵夫『数理精蘊解』の書誌調査

第五節：安島直円『不朽算法』と『数理精蘊補解』の比較

第六節：延岡藩『数理精蘊解』「対数比例解」の研究

小括

第二章：蘭書による対数受容

第一節：研究史

第二節：蘭書『航海宝函』の調査

第三節：『航海宝函』中ダウウェス対数表

第一部 論考編

第一節：研究史

第五節：安島直円『不朽算法』と『数理精蘊補解』の比較

第一節：研究史

第三節：『航海宝函』中ダウウェス対数表

第一節：研究史

第一節：研究意義および研究史

第三節：『数理精蘊』の数学用語表

第五章：江戸後期の和訳洋書中の数学用語

第二節：志筑忠雄の創出

第四節：志筑忠雄の数学訳語対照表

第六章：文化年間延岡藩内藤家本『数理精蘊解』

第二節：内容特徴

第三節：『数理精蘊』写本下編写本の内容

第八章：福田家『数理精蘊』写本研究

第二節：写本考察

[显示全部信息](#)

前言

『数理精蘊』は、江戸時代の日本にも輸入された。近代以来の数学史研究は、江戸時代における『数理精蘊』の影響に触れてはいるが、なお以下の疑問を残している。

『数理精蘊』の輸入時期

『数理精蘊』の和訳本および和訳年

『数理精蘊』と対数の輸入との関係

この三つの問題は、いずれも関連するものである。『数理精蘊』の最大の特徴は、対数表製法を収録していることである。『数理精蘊』以外の漢訳書に、対数表製法はない。そのため、江戸時代の対数書の典拠が究明されれば、『数理精蘊』の輸入時期もより明確になる。

本論は、天明?寛政期の日本最古の対数書から論述を始める。そして享和?寛政期の対数書の典拠および『数理精蘊』との関係を明らかにしようと思う。更に、『数理精蘊』の輸入時期およびその和訳年という問題を考察する。

本論は、文献学?書誌学的な研究手法をもちいて、書誌調査および文献解読にもとづいた研究をおこなう。

『数理精蘊』の輸入時期

『数理精蘊』と対数の輸入との関係

本論は、天明?寛政期の日本最古の対数書から論述を始める。そして享和?寛政期の対数書の典拠および『数理精蘊』との関係を明らかにしようと思う。更に、『数理精蘊』の輸入時期およびその和訳年という問題を考察する。

文献解読中、漢訳書および和訳書の中の数学用語も、筆者の視野に入った。当然、数学用語の範囲は広く、その数も多い。本論は、『数理精蘊』を中心に、近世日本と中国で使われた数学用語を整理し、その起源を文献学的に解明しようとする。

[显示全部信息](#)

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

[更多资源请访问www.tushupdf.com](http://www.tushupdf.com)